

取組拡大に向けた活動を行っています！



（写真1）田んぼダムの説明

令和六年八月二六日、大仙市立神岡小学校の四年生を対象に田んぼダムの出前授業を行いました。これは秋田県仙北地域振興局の流域治水検討会が行っている普及・啓発活動の一環で、田んぼダム模型を用いた説明を行うことで、より具体的に理解し、関心を深めてもらうよう取り組んでいるものです。



（写真2）田んぼダム模型による実演

当日は気温32度を超える中、体育館での出前授業に協力してくださった神岡小学校の皆さん、どうもありがとうございました。

今年度は、このほか仙北市の小学校や土地改良区支部全体会等で実演するなど、取組面積の拡大に向けた活動を積極的に行っています。

田んぼダム通信

【第9号】

発行者
秋田県農林水産部
農地整備課
農地整備チーム
TEL018-860-1824
水利整備・防災チーム
TEL018-860-1830
農山村振興課
地域環境保全チーム
TEL018-860-1853

スマート田んぼダムが 県外視察の対象に

令和六年七月四日、山形県天童市議九名が来県し、県営ほ場整備事業「畑屋中央地区」（仙北郡美郷町・大仙市）のスマート田んぼダムの現地視察を行いました。当地区は従来型の田んぼダム（機能分離型）に取り組んでいるほか、令和三年度「スマート田んぼダム実証事業」により、区内の約十軒において自動排水栓装置を設置しています。

このシステムにおける最大の利点は、降雨前にスマートフォンの遠隔操作で一斉排水することにより、従来型の田んぼダムより多くの貯水容量確保と流出抑制が可能となるものです。

美郷町千畑土地改良区と農業者（写真3）による説明後、参加した市議



（写真4）天童市議の視察状況



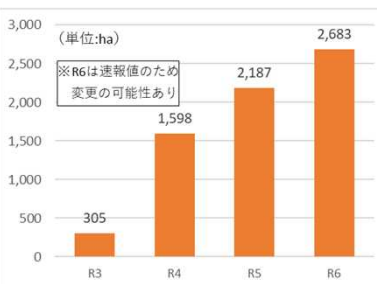
（写真3）土地改良区職員による説明

からは、機器導入にあたり活用した事業制度や操作性および耐久性等の質問があったほか、遠隔操作による本体機器の作動状況を見ていただきました（写真4）。

今回の視察に参加した市議からは「このような機器を見ることが初めてなので、利用者の感想や意見が聞けて良い視察だった」と、お言葉をいただきました。



東北6県の取組面積
（令和5年度実績）



秋田県の年度別取組面積

全国的な田んぼダムの取組面積は、令和五年度末で約八万七千haとなっています。県内では令和三年度から取り組みが始まり、昨年度末時点で約二千二百haまで増加しました。東北では山形県に次ぐ第二位の取り組み状況です。近年、各地で集中豪雨による河川氾らんが多発しており、被害を軽減するため田んぼダムの効果が期待されています。

田んぼダム取組状況